

平成30年度 女性医師支援者担当者連絡会

平成30年12月9日 日本医師会館

日本肝臓学会の取り組み

日本肝臓学会 理事
男女共同参画委員会委員長
飯島尋子

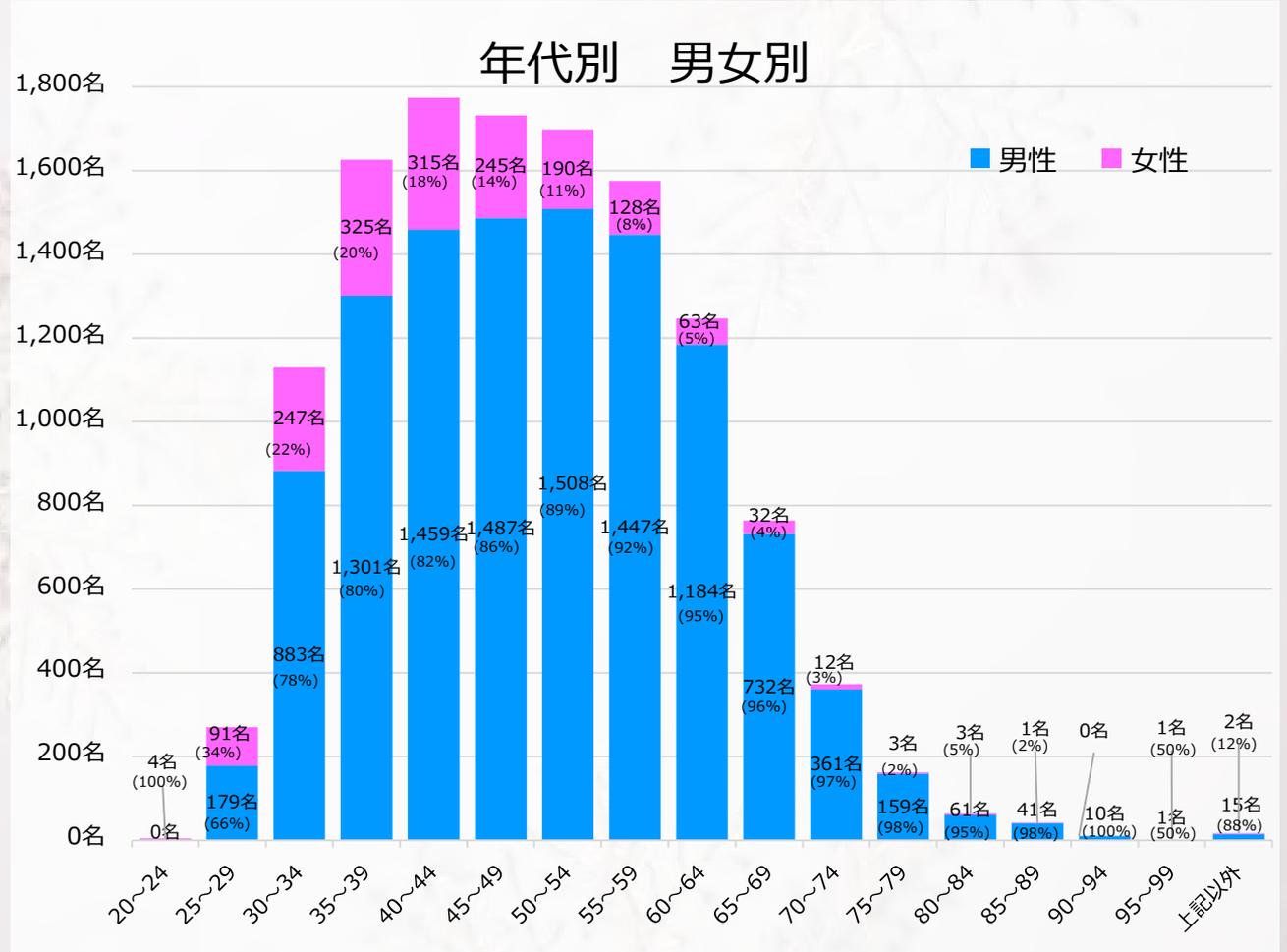
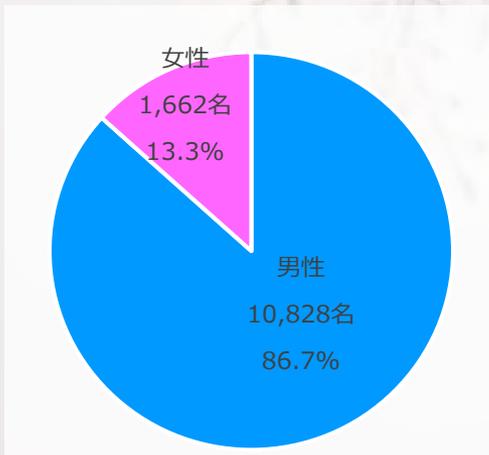
(兵庫医科大学 内科 肝胆膵科・超音波センター)

日本肝臓学会男女共同参画委員会

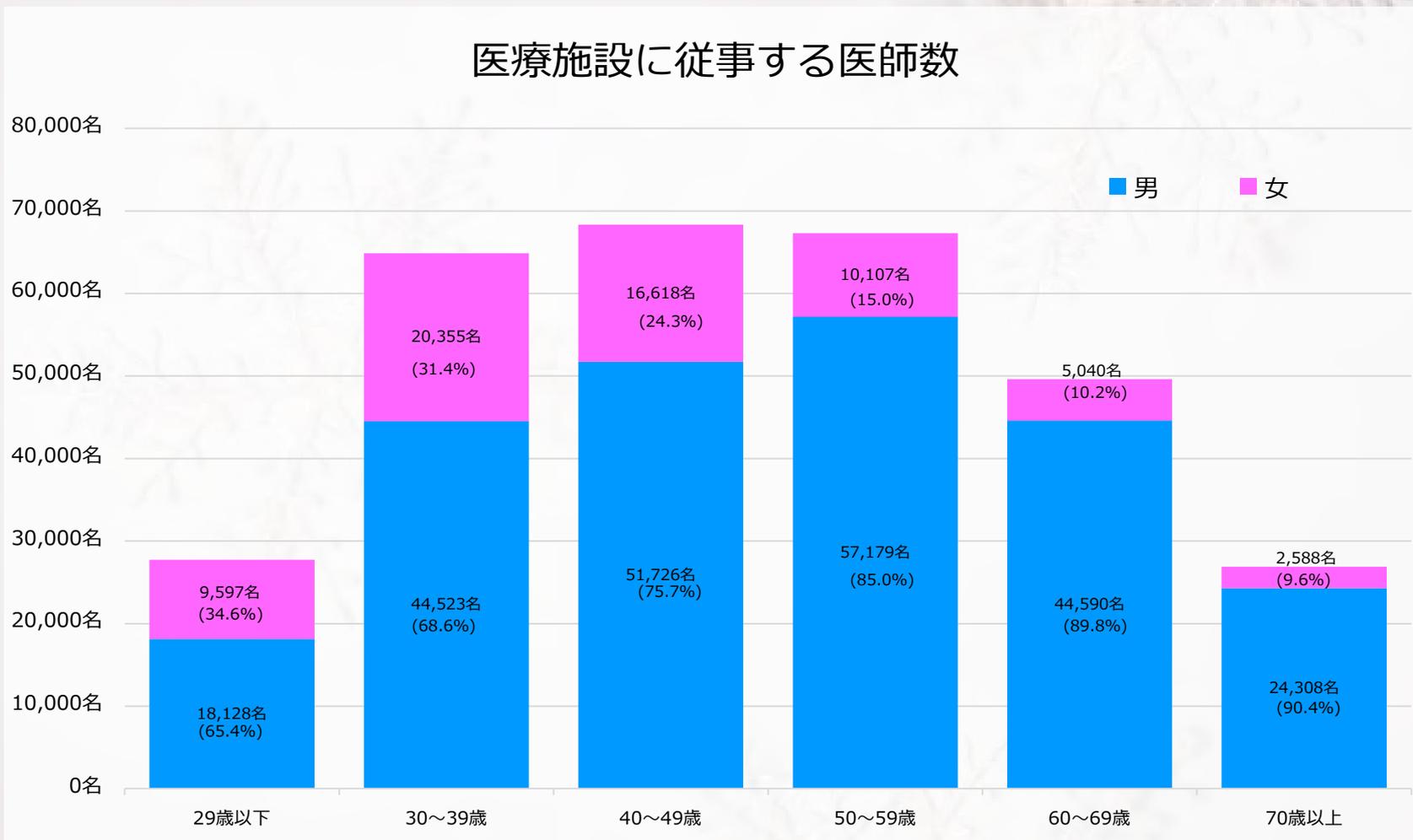
- 2009年設立
 - 実態調査目的でアンケート調査
 - 年1回男女共同参画をテーマに育児支援などメンターの講演など
- 目標
 - 女性のキャリア支援
 - 評議員の増加
 - 座長への登用の促進活動を学会長に対して行った
 - 女性理事誕生（選挙制度）
 - 女性評議員・会員の意識統一
- 女性理事誕生 2014年
- 女性評議員枠の設定 2018年
 - 女性会員1118名



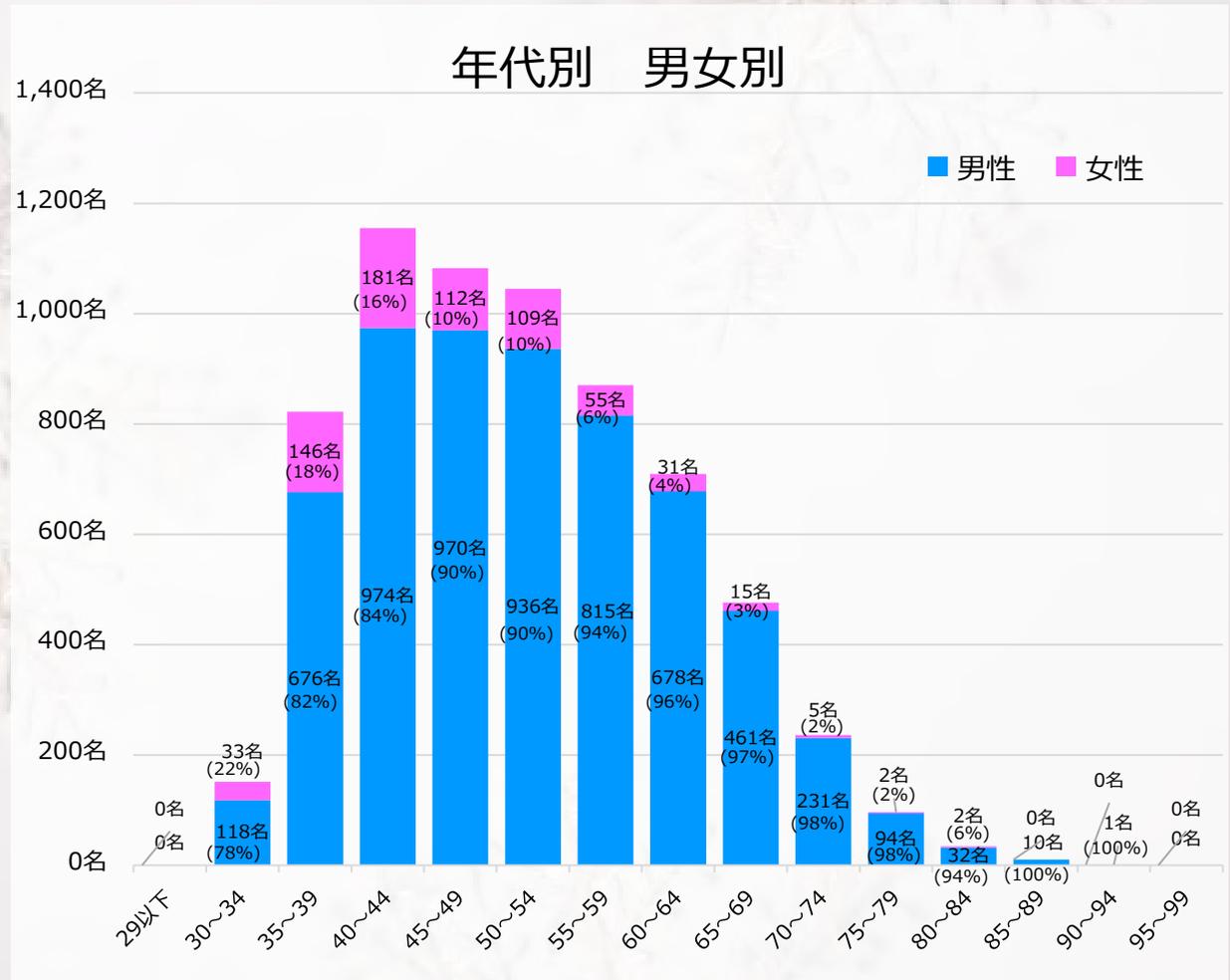
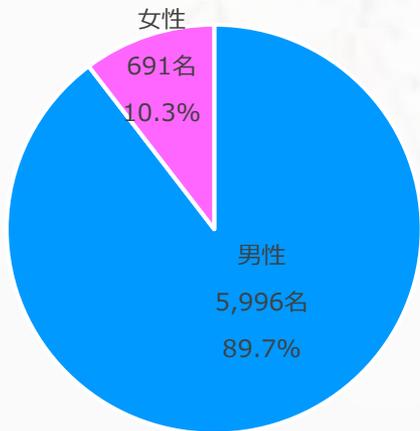
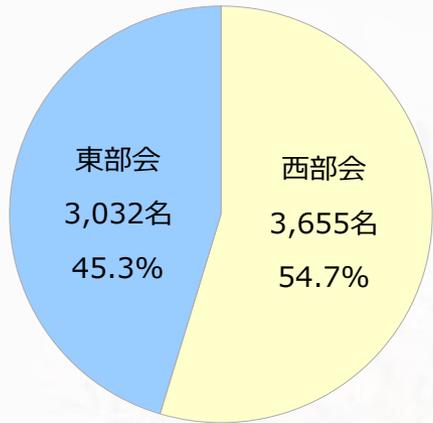
全会員数 12,490名



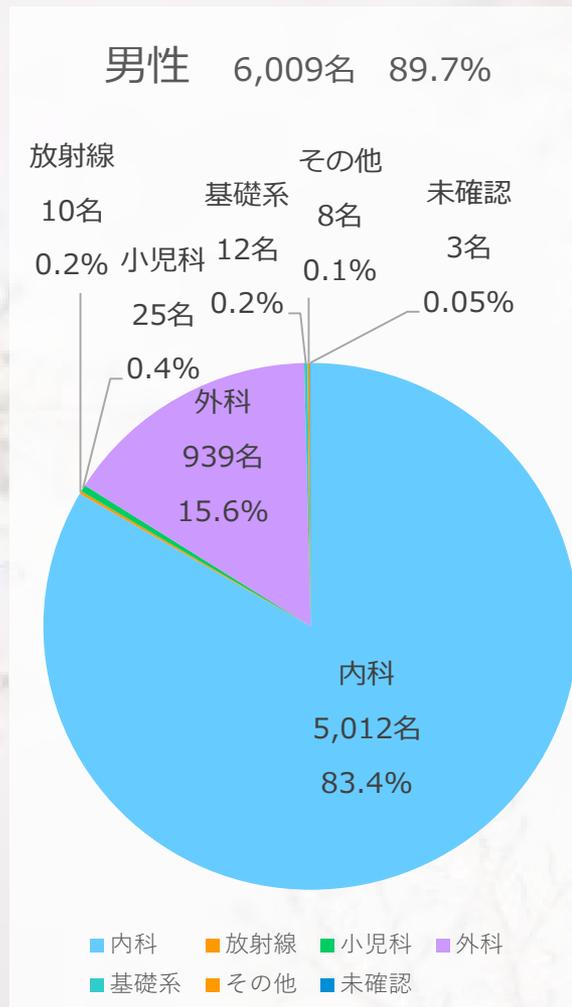
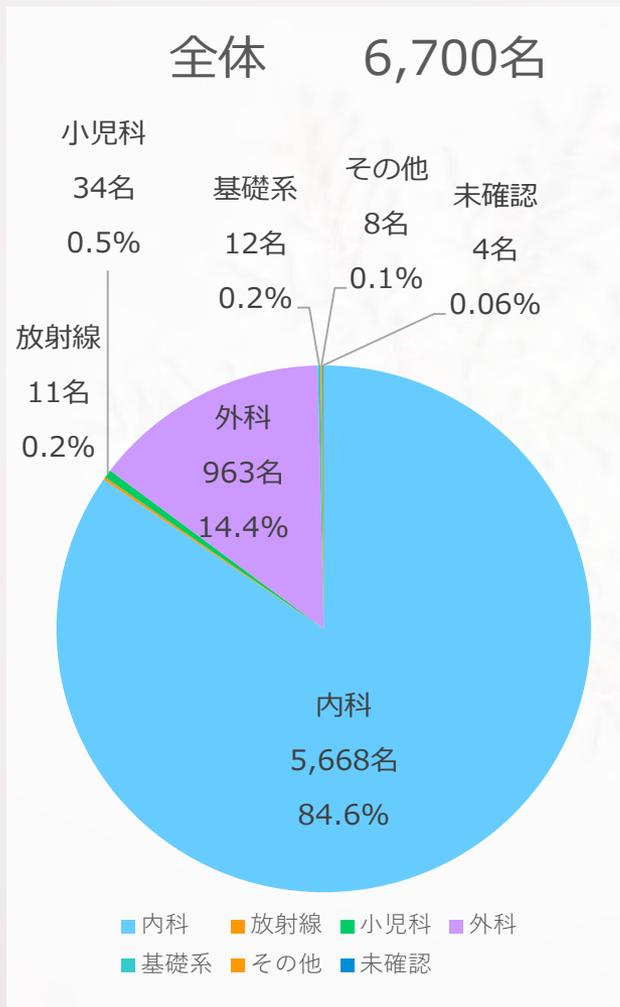
性、年齢階級別にみた医療施設に従事する医師数



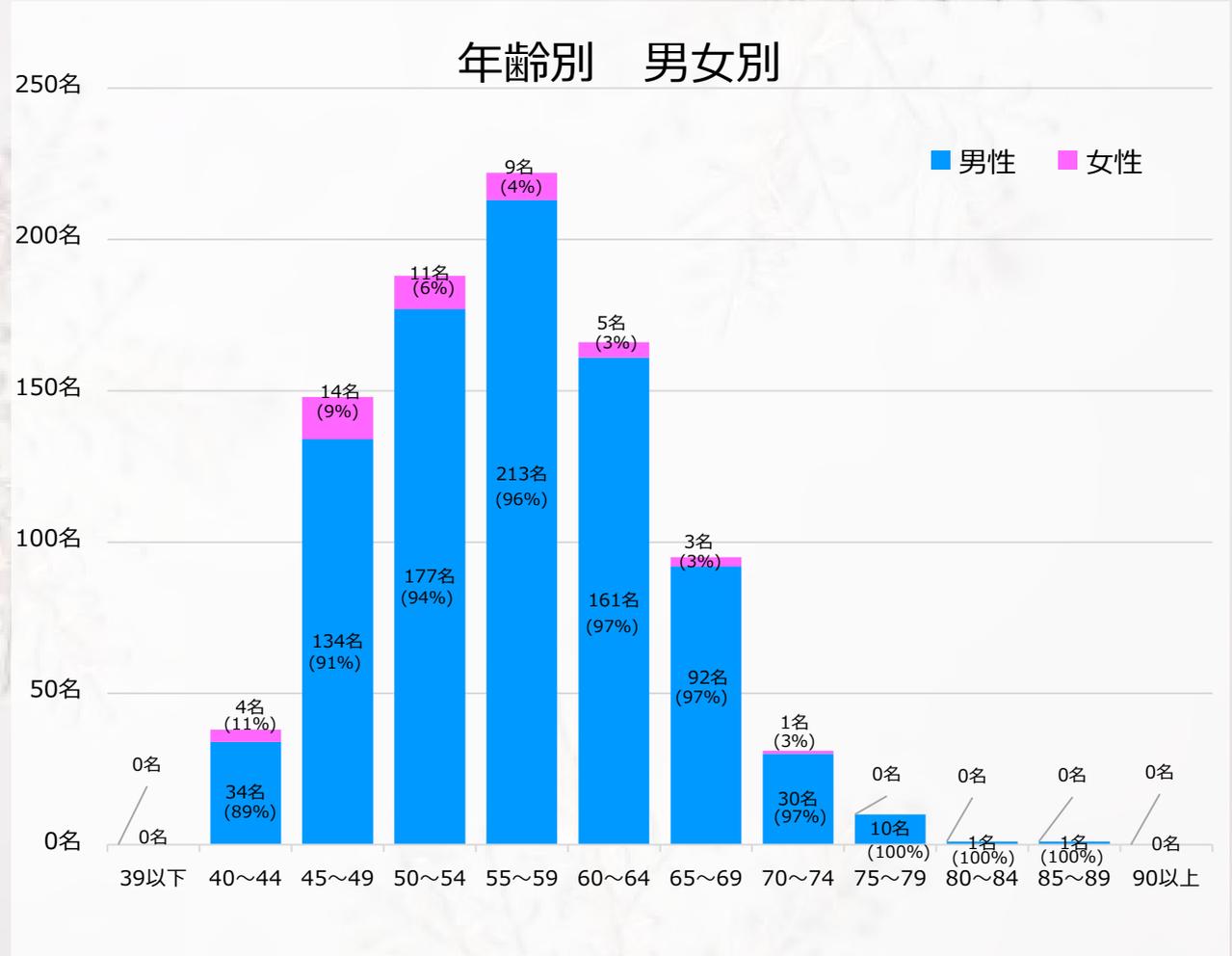
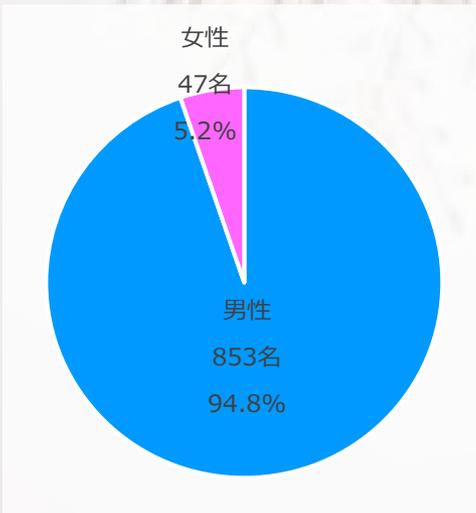
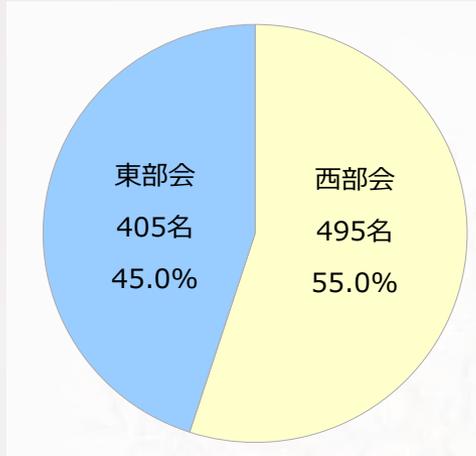
専門医数 6,687名 (53.5%)



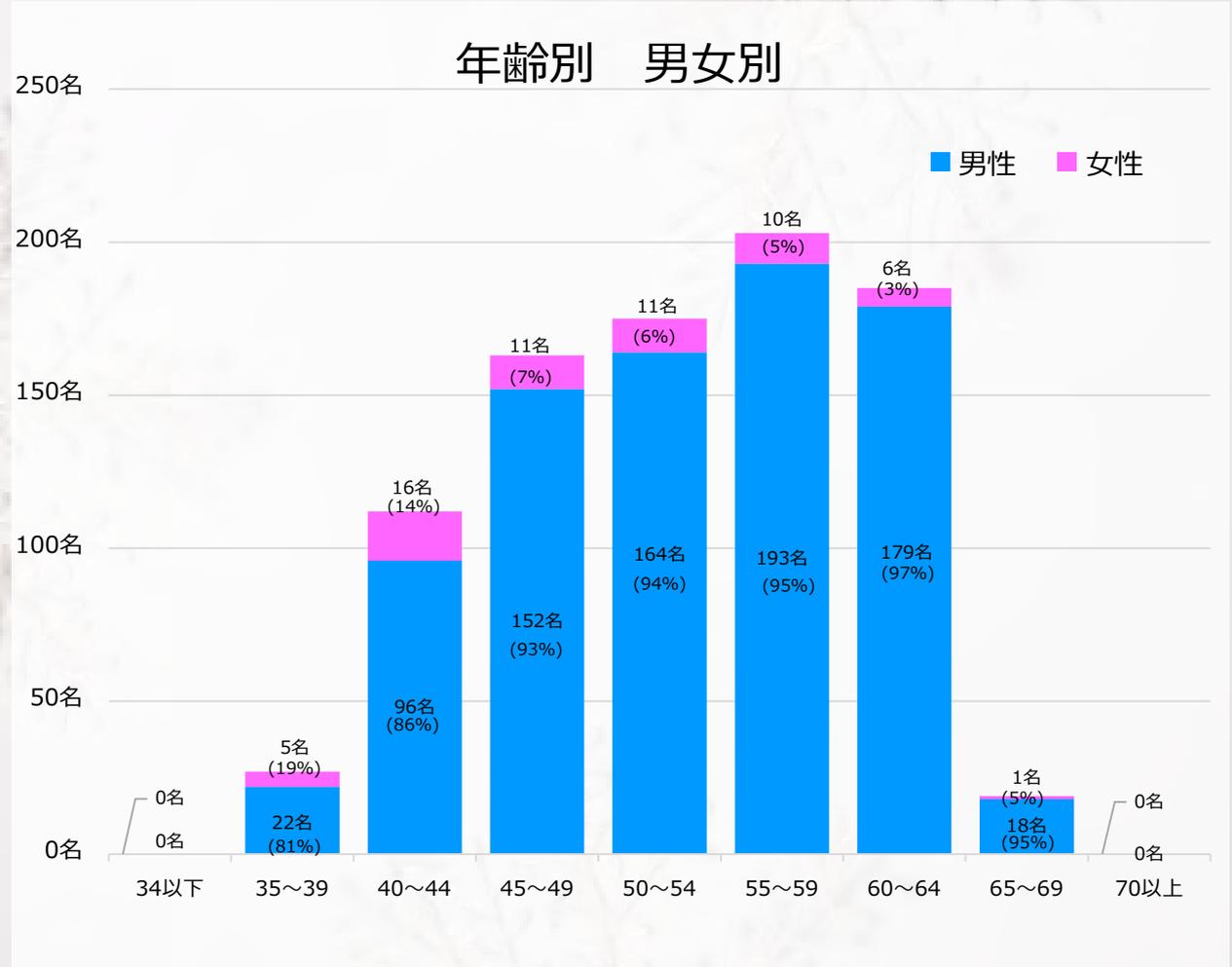
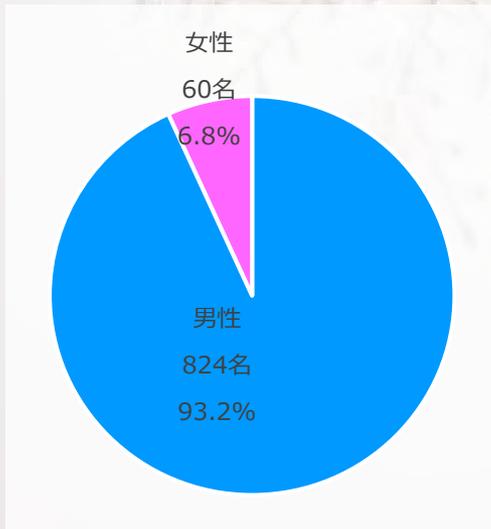
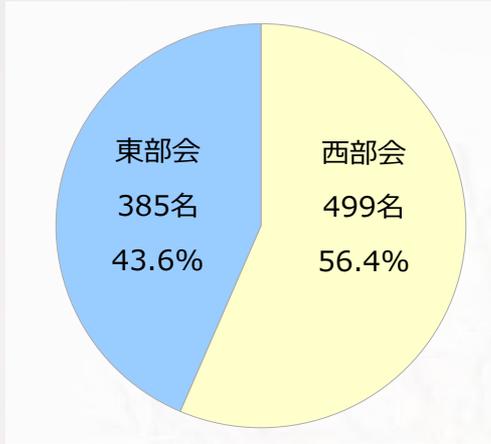
専門医数 科（領域）別



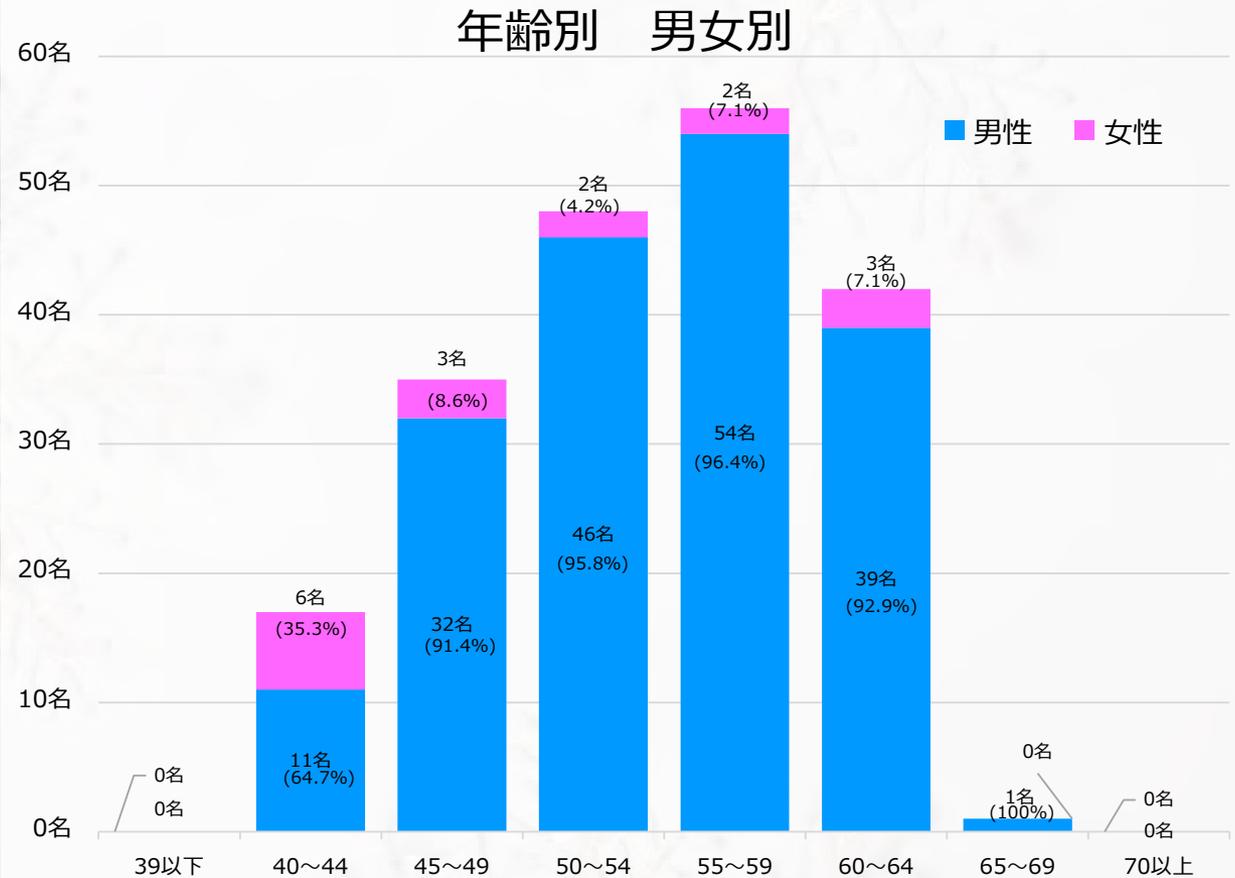
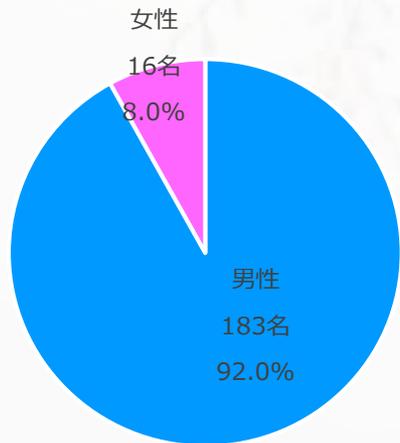
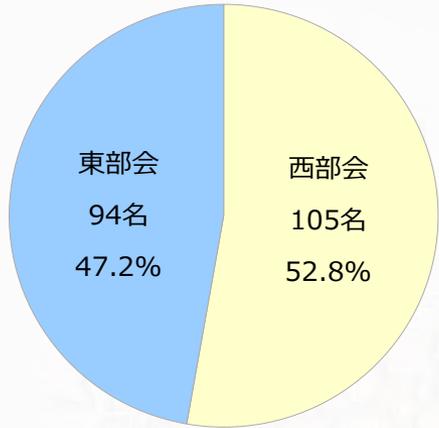
指導医数 900名 (7.2%)



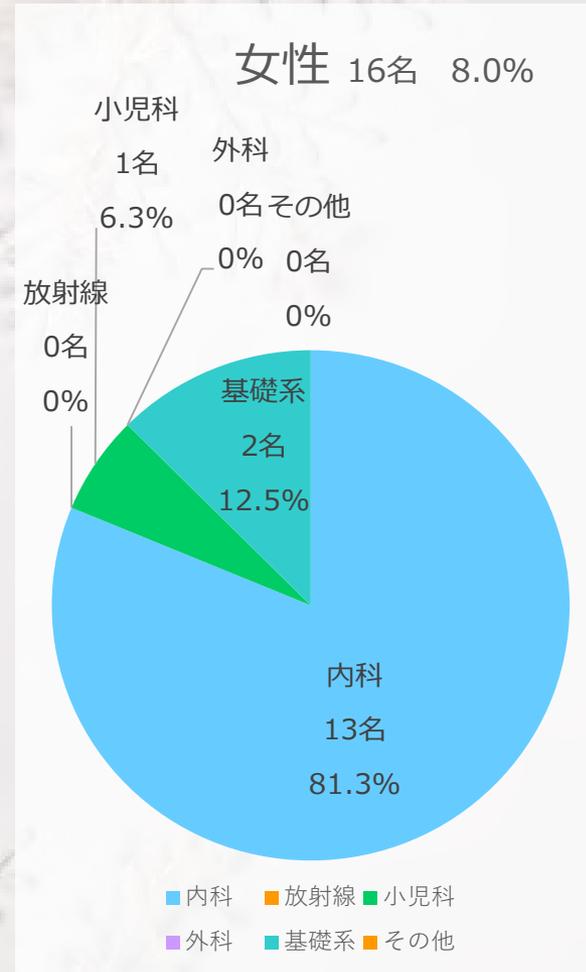
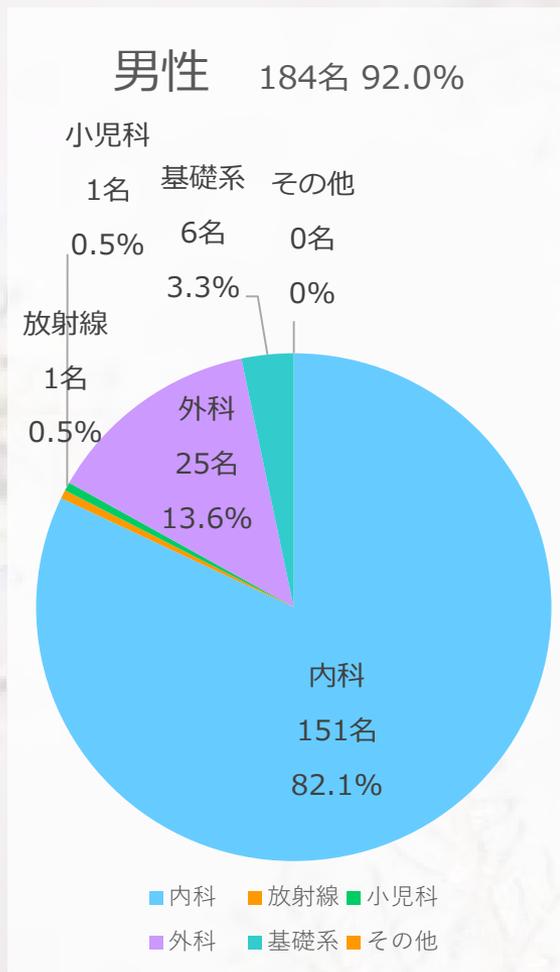
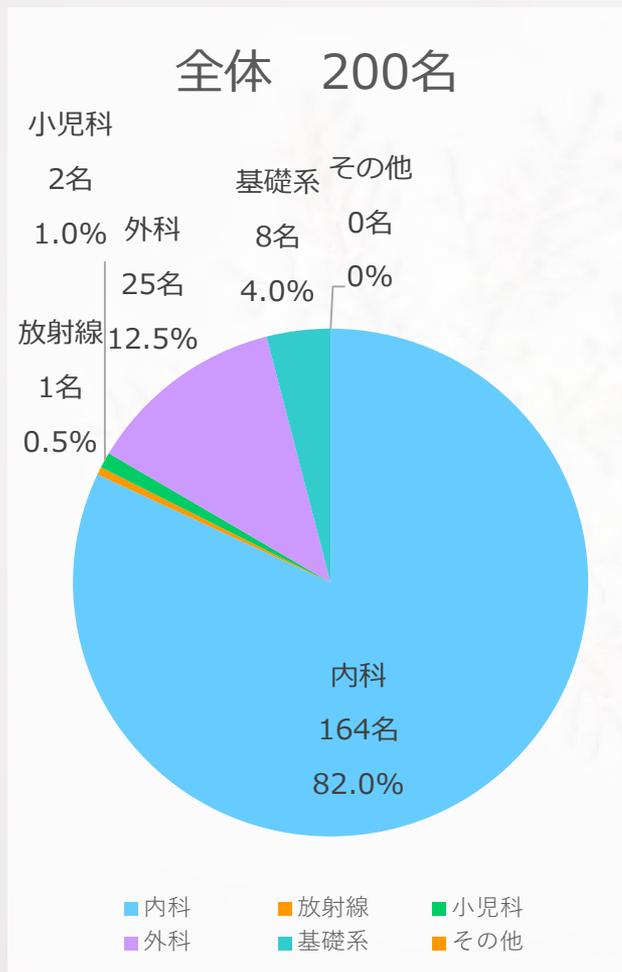
支部評議員数 884名 (7.1%)



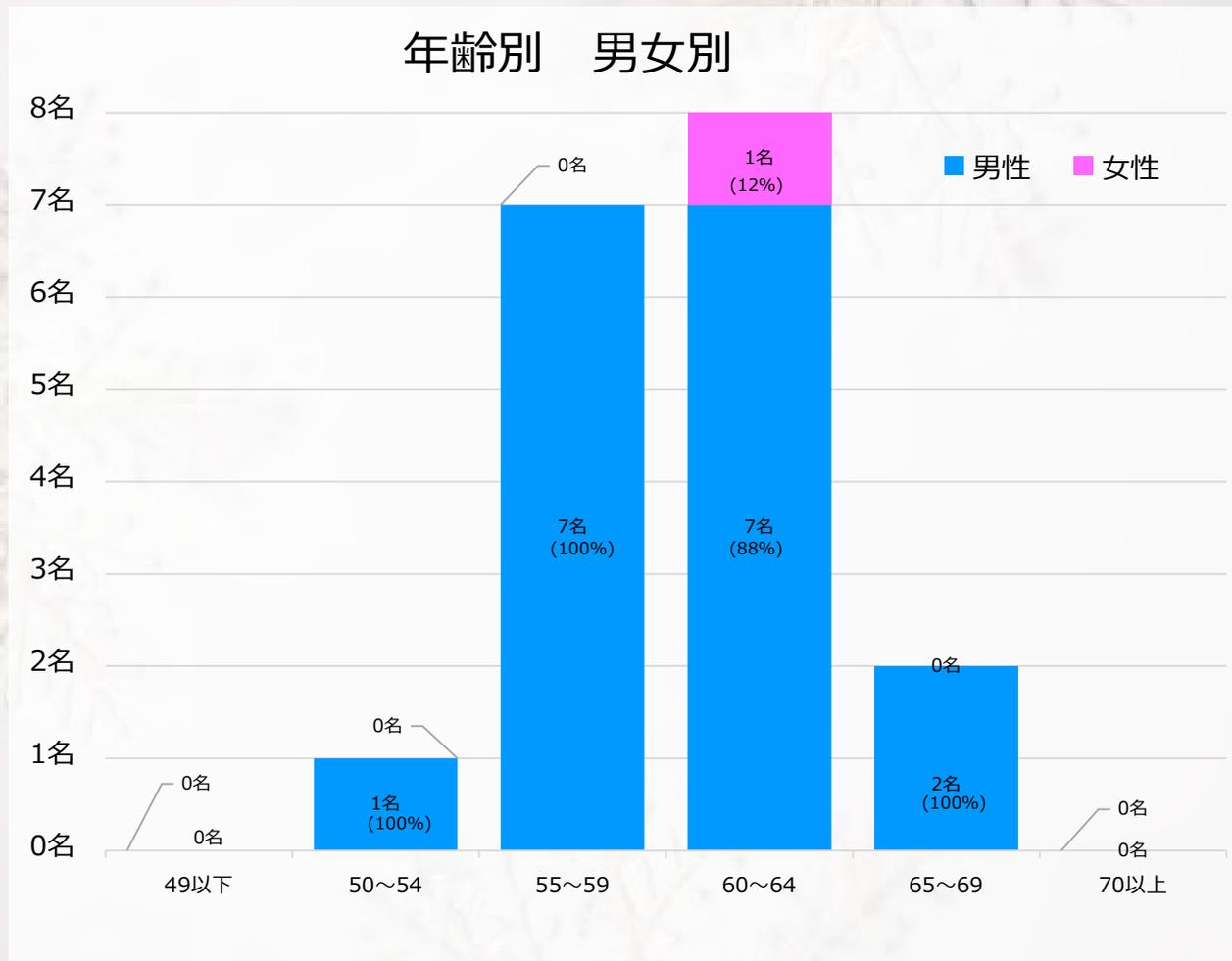
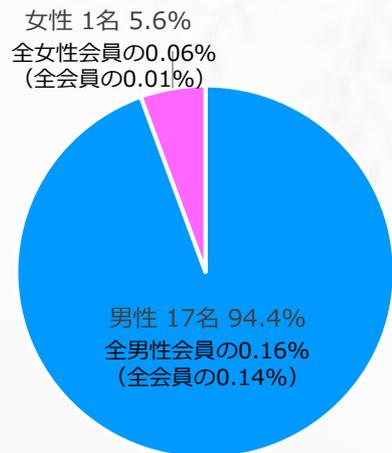
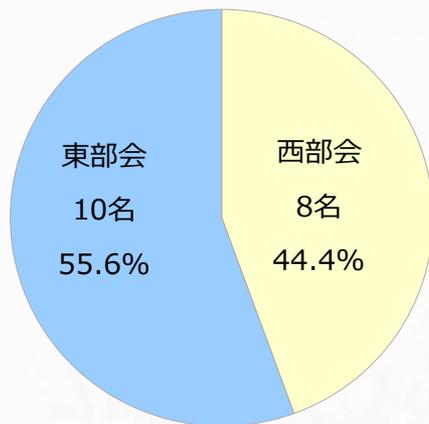
学会評議員数 199人 (1.6%)



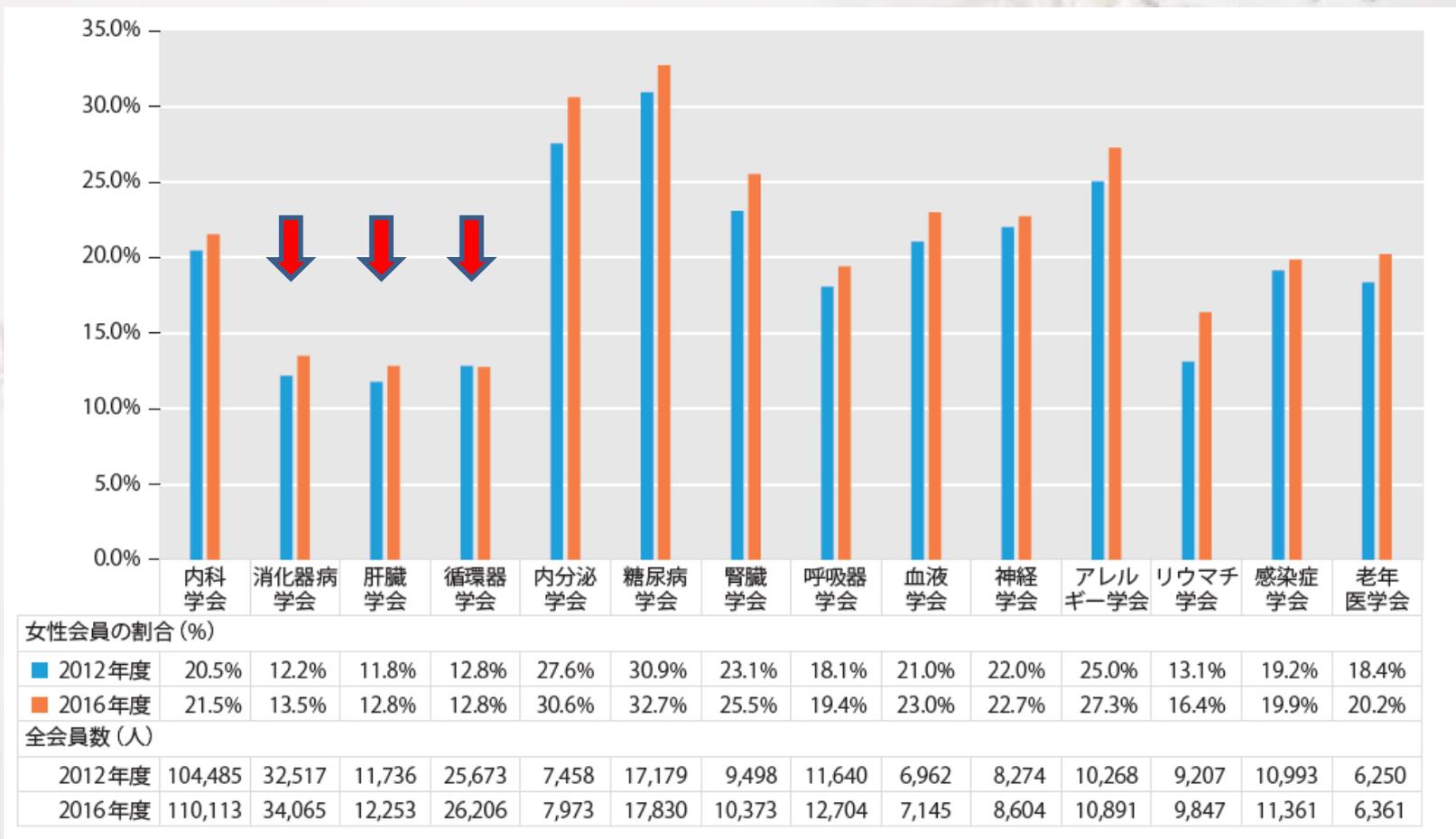
学会評議員数 科（領域）別



役員数 18名 (0.1%)



内科学会と内科系13学会における女性会員の割合 (2012年度/2016年度)



(名越澄子他 日本内科学会雑誌107巻 5月 2018年)

内科学会と内科系13学会における女性評議員の割合 (2012年度/2016年度)



(名越澄子他 日本内科学会雑誌107巻 5月 2018年)

14学会における女性理事数（2012年度/2016年度）

		内科学会	消化器病学会	肝臓学会	循環器学会	内分泌学会	糖尿病学会	腎臓学会	呼吸器学会	血液学会	神経学会	アレルギー学会	リウマチ学会	感染症学会	老年医学学会
女性理事数	2012年	0	1	0	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	2016年	0	2	1	1	1	1	2	0	1	1	0	1	0	0
全理事数	2012年	19	20	16	30	20	18	20	30	25	20	20	19	15	20
	2016年	19	20	16	30	20	18	20	33	25	20	20	19	18	20

(人数)

(名越澄子他 日本内科学会雑誌107巻 5月 2018年)

14学会の専門医における女性の割合（2016年度）

		内科学会	消化器病学会	肝臓学会	循環器学会	内分泌学会	糖尿病学会	腎臓学会	呼吸器学会	血液学会	神経学会	アレルギー学会	リウマチ学会	感染症学会	老年医学学会
専門医数	女性数 %	5,292 (20)	2,502 (12)	603 (10)	1,432 (11)	574 (24)	1,592 (29)	1,008 (22)	1,057 (17)	779 (20)	1,200 (22)	884 (23)	627 (13)	154 (11)	190 (13)
	総数	26,698	20,913	6,184	13,628	2,365	5,518	4,493	6,218	3,816	5,581	3,847	4,784	1,363	1,448
会員医師数	女性数 %	23,708 (22)	4,596 (14)	1,500 (12)	3,045 (13)	2,283 (33)	4,449 (28)	2,501 (25)	2,420 (19)	1,478 (23)	1,876 (23)	2,854 (27)	1,454 (15)	1,368 (15)	817 (16)
	総数	110,113	33,983	12,038	24,227	6,921	15,719	9,972	12,414	6,430	8,115	10,460	9,556	9,032	5,242

(名越澄子他 日本内科学会雑誌107巻 5月 2018年)

日本肝臓学会

- 妊娠・出産などに伴う研修期間の休止を認める
- 疾病での休止については、原則として連続3年までは認める
- 短時間雇用の形態での研修については、研修年限を延長するなどの運用を図り、研修修了を目指す
- 留学・病棟勤務のない大学院の期間においては、この間を専門研修としてカウントしない
- 肝臓専門医研修プログラムを移動する場合は、研修施設間で協議し研修カリキュラムの内容が過不足なく学べるように配慮し、研修カリキュラムの終了を目指す

1) 疾病、妊娠・出産などに伴う研修期間の休止を認める。（これは現行）
（新しく追加として）疾病、妊娠・出産に伴う休止については、休止期間が6か月以内であれば、研修期間を延長する必要はないものとする。
但し、診断書などの証明する書類は必要とする。

2) （新しく追加として）短時間雇用の形態での研修については、按分計算（1日8時間、週5日を基本単位とする）を行なうことによって、研修実績に加算される。病院や指導医の印など勤務状態・条件等を証明する書類の提出は必要とする。

日本肝臓学会

- 妊娠・出産などに伴う研修期間の休止を認める
- 疾病での休止については、原則として連続3年までは認める
- 短時間雇用の形態での研修については、研修年限を延長するなどの運用
- 留学し、複数の乳幼児の養育が必要な場合は休止期間が延長する可能性がある。長期間の休止が必要である場合は、**肝臓学会専門医制度審議会において当該専攻医からの申請を受け、研修の休止期間や再開時期について審議を行う**
- 肝臓研

キュフムの終

1) 疾病、妊娠・出産などに伴う研修期間の休止を認める。（これは現行）
（新しく追加として）疾病、妊娠・出産に伴う休止については、休止期間が6か月以内であれば、研修期間を延長する必要はないものとする。
但し、診断書などの証明する書類は必要とする。

2) （新しく追加として）短時間雇用の形態での研修については、按分計算（1日8時間、週5日を基本単位とする）を行なうことによって、研修実績に加算される。病院や指導医の印など勤務状態・条件等を証明する書類の提出は必要とする。

学会での男女共同参画支援 今後の企画案

- 学術支援（キャリアアップ・継続）
 - 学会総会レベルでの支援
 - キャリアアップ継続のための各種セミナー
 - 専門医指導医の増加
- ライフイベント中の世代支援（出産・育児）
 - 若手医師の肝臓学への興味を引き出す
 - Meet the professor
 - 肝臓学の初期教育
 - ハンズオンセミナー
 - 専門医セミナー
- 介護世代のキャリア継続
 - Web教育